

特許情報を用いた医療ニーズ分析に関する実証調査

調査報告書はこちら → <https://www.amed.go.jp/chitekizaisan/kenkyuu.html>



【目的】医療機器の開発では、現場の医療ニーズを起点に、製販企業及びものづくり企業が連携して製品化に向けた開発を行うが、特に地方の中小規模大学においては、医工連携コーディネータの不足等により、連携企業を見つけ出すことは容易ではない。そこで、医療機器や特許検索の専門家がなくても、医療ニーズから容易に連携企業を探索する手法の実証調査を行い、方法論として提示することを本調査の目的とした。

【調査フロー】

- ①医療従事者から医療ニーズを聞き取り、文章として医療ニーズを抽出
- ②-1 抽出した医療ニーズを用い、概念検索により関連する特許群を作成
- ②-2 特許群から、医療ニーズの解決を示唆する単語(技術ワード)を抽出
- ③医療従事者とディスカッションし、抽出した技術ワードから、医療ニーズの解決手段及び当該技術を有している企業(当該医療ニーズの実現に当たり、連携候補となる企業)の探索

【将来の利用イメージ】



